

町の人口		11月の納税	
◆総数	9,098人	保険料	11月分
男	4,356人	保 育 料	ク
女	4,742人	国民年金保険料	ク
10月中の異動	減 17人	◆納期	11月30日
出生	5人	◆納税は、あらかじめ準備して納期日に完納しましょう。	
死亡	7人		
転入	26人		
転出	41人		
◆世帯総数	1,997世帯		
一住民登録人口	10月末現在		

とうえい

広報

発行 東栄町役場
編集 企画室
愛知県北設楽郡東栄町大字本郷
字上前畑25 TEL 東栄(代)400
印刷 株式会社水鳥印刷所

町の開発、つち音高し

教育施設 整備事業と取り組む

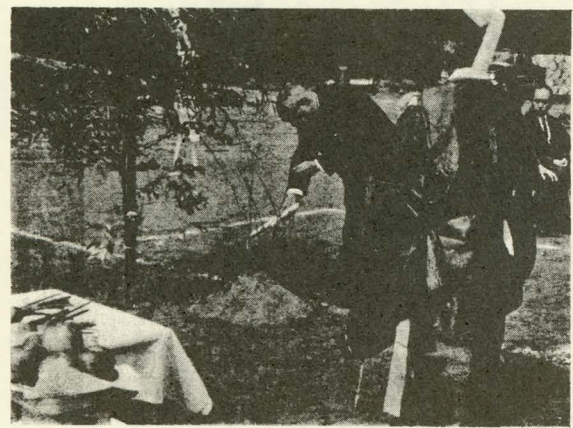
明るく豊かな町づくりをめざして、東栄町は常に運動をつづけています。農構、林構そして振興の振興施策と意欲的に取り組んでいるのです。ここに紹介するのは、御園小学校の改築と多年の懸案であった火葬場の建設が実現されることになったもので、両事業とも目下建設工事が着々とすすまっています。その概要は次のとおりとなっています。

御園小の改築工事進む

鉄筋コンクリート三階建てに

町立御園小学校が改築されることになりました。去る十月七日には、関係者が出席して現地で起工式を行ない、来年三月末のしゅん工を目ざして、現在工事がすすまっています。

改築される校舎は、延べ五百七十九平方メートルの鉄筋コンクリート三階建てというりっぱな建物で、総工費は千七百四十八万円が投入されることになっています。また、設計は豊橋市の柳瀬



御園小の起工式で「さく始の儀」を行なう町長

建築事務所で、施工には飯田市の木下建設があたつています。御園小学校の創立は明治八年ですが、現在の敷地に校舎を新築したのは明治三十三年で、その後大正十二年にこの校舎を改築しています。しかし、それ以後は附属建物の増設のほかに大きな改築をしておらず、老朽化が著しいため、これまで危険建物とされてきました。こうした実情から、校区のみならず

火葬場の建設実現へ

明春から使用の見通し

時代のうつろいに伴い、環境衛生整備ならびに生活改善を図るための一環として、火葬場の建設問題は、いまや山間地帯の多くの町村において、時代の要求にこたえようと真剣に取り組んでいます。

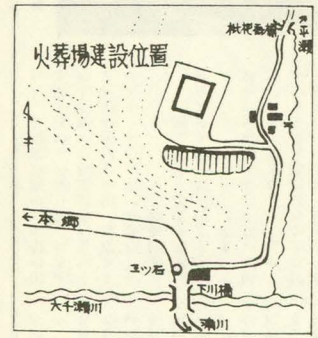
東栄町においても、この火葬場の建設問題については、町村合併以来の宿望となつていましたが、ようやくその計画もすべて整い、本年中には実現の見通しとなりました。

建設のはこびとなった火葬場の場所は、図で示したように大字西園目字耳岩地内で、地先の交渉もましまり、また地元地区の協力を得て、すでに工事は着々と進められています。こうした八月から始められていた敷地造成と取り付け道路工事は、工事費百三十五万円で木下建設が施工にあたり、敷地面積千六百十五・二平方メートル、取り付け道路延長八十二・五メートル、幅員三・五メートルの規模で、すでに九月末完

成しています。また、利用者の心の慰めを図るとともに風致、環境の面にも考慮がはられ、池の築造整備もあわせて行ない、これもほぼ完了しました。

残る火葬場建物の建設については、鉄骨づくり平屋建て、延面積五十二・五平方メートル、工事費百五十万円を投入、地元の伊藤建設の手によって目下建設中です。また、設備工事である火葬炉(一基)ならびに煙突工事は、豊川市の東亜工業が受け持ち、上屋建設も併行して設備を整える手はずであり、その工事費は百万円となっています。なお、霊きゅう車の購入および運営規定などについても、現在検討中です。

火葬場の見取図



戦没者の父母などに 特別給付金が支給に

戦争のため老後を慰めてくれる子や孫を全部なくし、さびしい境遇におかれている父母や祖父母などの精神的痛苦に對し、国が特別の慰謝を行なうため、これらの人に特別給付金が支給されます。

① 対象者
七月十七日以後に公務により戦没した者の父母または祖父母であること。
② 戦没者の死亡当時、他に子も孫もなかったこと。
③ 戦没者の死亡後、昭和四十二年三月三十一日までの間に子も生れなかったこと。
④ 昭和四十二年四月一日において公務扶助料、遺族年金などを支給しているか、または支給資格を有すること。

支給額は十万円、五年償還の国債で、昭和四十三年五月十五日から毎年一回各二万円ずつ支払われます。

▼請求手続き
対象者は、役場の住民課福祉係に申し出て、なるべく早く請求手続きをしてください。なお、対象者が昭和四十二年

青年の家で
編物教室を開設
青年の家、東栄荘では、施設がもつ本来の目的を実現するために、この地域の婦人、女子青年および一般住民のみならず、教養と技術を身につけて日常生活にすぐ役立つことを目指して、このたびの要領で編物教室を開設することになりました。

現在、生徒募集をしていますので、ぜひご参加くださるようご案内いたします。

●開設要領
(一) 開設時間：人員がまとまり次第開設します。
(二) 開設場所：青年の家東栄荘
(三) 月謝：普通科千二百円。
(四) 申し込み方法：青年の家事務局に直接または電話(東栄局四三三番)でお申し込みください。

なお、開講にあつては、ある程度の生徒数が必要となりますが、開講できないうちに、念のためご承知おきください。

郷土の『花祭り』 開催の日どり

無形文化財として全国的に紹介されている郷土の『花祭り』が、この日は次の日程で開催される予定です。

●各地の開催日程
十一月二十一日、三日、月
十二月二日、三日、中設楽
十二月十二日、十三日、小林
一月二日、三日、古戸
一月三、四日、中在家、粟代
一月四、五日、足込
一月五、六日、布川

定となっています。
四月一日以降死亡した場合は、相続人が請求できます。

窓口事務が法制化

各種台帳を整備・統合

住民基本台帳法 十一月十日からスタート

住民基本台帳法が十一月十日から施行になりました。これに先がけて、町では先月号で紹介したように、役場の窓口事務のうち届出書類を中心に一部改善しましたが、この法律施行によって、住民の権利・義務に関する各種台帳を整備・統合するなど、さらに住民の利便向上と、役場における事務処理の合理化を図ることにあります。

この制度では、みなさんが住所を変更したときには、必ず居住する市町村の役場に届出なければなりません。これらの届出を簡便にし、住民の権利・義務に関する基本的な事項を、正確でしかも統一した記録できるように整理することになります。そして、この台帳に基づいて住民に関するあらゆる事務を処理することによって、住民の利便を図るとともに、あわせて役場における事務処理の合理化を図ろうとするのがねらいとなっております。

次に、この制度の概要をご紹介します。

＜住民基本台帳法の概要＞

①さきに述べたように、役場では、住民からの届出、または調査によって住民の氏名、本籍、住所などをはじめ、選挙人名簿の登録、国民健康保険および国民年金の被保険者の資格ならびに米穀配給の配給に関する事項を記載した住民基本台帳を整え、

その住民の状態について、常に正確な記録を整備しておくことにも、これらに基づいて住民に関する事務を行なうこととなります。

②住所などを変更したときの届出で足りることにあります。したがって、選挙、国民健康保険、国民年金および食糧配給に関する届出などもこの届出に統合されます。

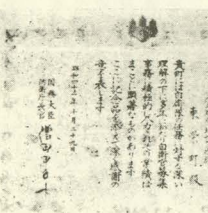
③届出しようとするときは、あらかじめ

自衛隊観閲式に随行して

夏目住民課長

昭和四十二年年度自衛隊観閲式が創立記念日の去る十月二十九日、東京の国立競技場前で挙行され、同日あわせて、全国から五十八市町村の功労者が増国防衛庁長官に招かれたが、東栄町もその該当者に選ばれて招へいを受け、町長が長官から感謝状を受領した。

感謝状



恒例の観閲式には、被表彰者全員がていねいな案内を受け、観閲官である内閣総理大臣の閣下で待機することになった。

午前八時三十分、市ヶ谷駐とん地に参集したが、まず第一に感じたことは、隊員の接遇態度が実に紳士的で、人員の配置に十分のすぎないことに深い感銘を受けた。親切で丁寧な説明も能率的な動作にはまことうべき感銘を深く感じた。

九時三十分には予定のバスに案内されて国立競技場へ到着、所定の席に誘導されたが、そこには既に、陸、海、空の音楽隊を右翼に、陸上、海上、航空の各隊員をはじめ婦人自衛官、防衛大学校の学生隊が、広大な競技場前に整然と定位置に着いて微動もせず静まりかえっている。

らかじめ役場に届出書類を提出して転出証明書ももらい、それを添えて転出先の役場へ転入届を出すことになりました。

④台帳の記載事項に關して、定期的には必要に応じて、定期的に調査できることになってい

以上のように、この法律の施行に伴い、選挙権の行使、義務教育の就学、国保の給付その他の行政サービスは、住民基本台帳の記録をもとに行なわれ

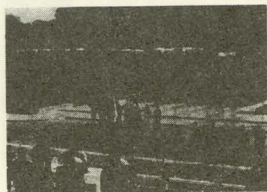
街頭パレードなどで

秋の交通安全運動 趣旨徹底に成果

十月の下旬に毎年行なわれる秋の交通安全運動が、ことしも全国いつせいに実施されました。この運動に呼応して、県では、みんま交通事故をなくするをスローガンに、県下全般

また、各種の届出が統合されるため、たいへん簡易な手続きで登録されることになりました。なお、この法律の施行に伴い、従来の住民登録法は廃止になりました。

本町の役場では、この法律の施行に先がけて、すでに届出書類を中心とした窓口事務の改善を実施しましたが、さらにみなさんのお役に立つ窓口行政ができるよう、この制度の目的にそつて研究をすすめる方針です。



国立競技場前の観閲式

十時三十分、観閲官である佐藤総理大臣が臨場され、厳じよう隊の榮譽礼によって式典がスタートした。

定刻の十一時から徒歩部隊の観閲行進が始まり、広場帯に次々と通過して行く部隊を観守する約四万人とも推定される観衆からは万雷の拍手が送られて、隊伍は整然とかなたへ、かなたへと続いた。統一した車馬部隊の隊進である。装甲車をはじめ、ナイキアジャックス、戦車、高射砲隊などの目を見張るような車両部隊がご音とともに地表面を揺がして通過。説明のアナウンサーも聞き取れない。

そのころ飛行部隊も各種ヘリコプターをはじめ、初瀬、若鷹、旭光、栄光など延べ百数機がみごとな編隊のもとに通過し、会場は最高の感激に沸いていた。旭光が金属音と五色の飛行雲を残して西の空へ飛び去つて観閲式は終わって感動いっぱい会場はどよめいていた。十一時五十分、式典は終わり



街頭行進の東中プラスチックバンド

たる十月二十三日には、広報報による町内への趣旨の徹底と、東中プラスチックバンドの協力によって、交通安全街頭パレードを実施して町民の関心を高めるなど、スローガンの達成に努めました。

町では、この春から交通安全対策には万全を期しており、町民のみなさんのご協力で事故件数も減少してきましたが、さらにこれを推し進め、交通事故ゼロの町を目標として、町民のみなさんにもいっそうのご協力をお願いいたします。

十一月二十六日から十二月二日までの七日間にわたって、全国いつせいに秋の交通安全運動が実施されます。

この運動では、火災から家庭を守るため火災予防思想を広く普及させて、国民一般の警火心を高めさせるほか、家庭における防火管理の適正化を指導し、このことにより火災予防体制を強化充実することが目的となっております。

また、この運動の実施事項としては、

(1)プロパガタスポン本の適正な置き場所と置き方の確認

(2)就寝前の火の元点検

(3)たばこの投げ捨てと覆たばこの防止

◆全国統一標語

さあ、ねよう

アツ、その前に、火の点検

家庭を守る

火災から

老令福祉年金は、七十歳以上の人に国が支給する年金です。現在、老令福祉年金の年金額は一万八千円(月額千五百円)ですが、昭和四十二年一月からは、一月九千二百円(月額千七百六十円)に引き上げられます。

この年金は満七十歳になればだれでも受ける資格ができますので、役場の住民課福祉係にご相談のうえ、裁定請求の手続きをしてください。この請求の手続きを行なわず五年間放置しておくと、時効によって折角の年

再び案内されて市ヶ谷へとバスは走っている。

式典を随観して特に強く感じたことは、四万余人の徒歩部隊の整然たる諸動作と、一団、一団の名もなき動く機械のような正確な部隊行動のみごとさには全く感動した。

しかも、計算されたスケジュールの時間と分秒の狂いもなく、さしもの大部隊が正しく動いて行く秩序のよさは、さすがに自衛隊ならではの感服を深くし、いっつも平和と国防のゆるぎなきを心の中で祈念した。

街頭パレードなど、交通安全運動の趣旨を徹底して実施し、町民の関心を高めるなど、スローガンの達成に努めました。

町では、この春から交通安全対策には万全を期しており、町民のみなさんのご協力で事故件数も減少してきましたが、さらにこれを推し進め、交通事故ゼロの町を目標として、町民のみなさんにもいっそうのご協力をお願いいたします。

伊藤富雄氏らが入賞

郡内の特産品の振興を図るため、盆裁、盆石、古木、観光みやげ品などの展示会が、去る十月十七、十八日の二日間、業務所で開催されました。当町からもみなさんのご協力と数多くの出品があり、展示即売が行なわれました。

なかでも、優秀なものについては、各方面から賞状および賞品が贈られ、また参加者全員に参加賞が贈られました。

当町関係の入賞者および出品点数は次のとおりです。

入賞者

▽盆裁の部

伊藤富雄 県農業会議会長賞

後藤宗吾 中部日本新聞社賞

山本守治 同

伊藤栄市 県商工会連合会設案 支部長賞

▽古木の部

藤原軍治 郡山岳公園協議会賞

長賞

▽盆石の部

音川四郎 郡町村会会長賞

当町の出品数(合計五十九点)

盆裁三十点(古木 十六点)

盆石 四点 観光みやげ品九点

70歳になったら手続きを

—老令福祉年金—

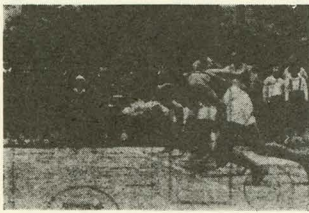
未請求の方は、いますぐ

この年金は満七十歳になればだれでも受ける資格ができますので、役場の住民課福祉係にご相談のうえ、裁定請求の手続きをしてください。この請求の手続きを行なわず五年間放置しておくと、時効によって折角の年

町民体育大会終わる

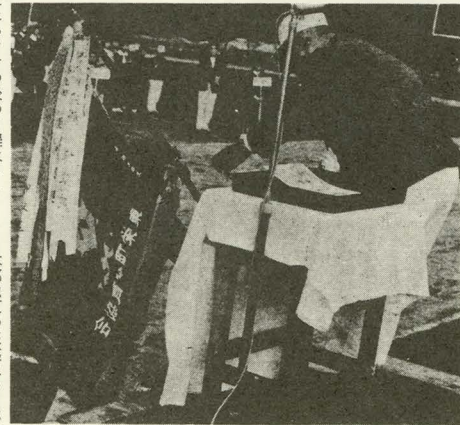
意義あった2千人のつどい

☆☆ ことしも本郷地区が優勝(陸上競技) ☆☆



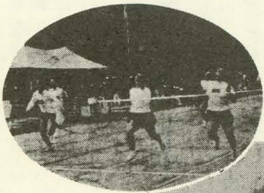
前夜来の雨が朝なお残るといふ不運に見舞われたことしの町民体育大会は、開会時間を延長して午前十時三十分開始された。競技は十一時から開始された。軟軟なグラウンドにおおくずを敷くなど、大会役員のご苦労でグラウンド・コンディションはまずまず。しかも、競技開始まもなく薄日もさすという天気の快復で、役員や選手たちを喜ばせました。

それとともに競技も白熱を加え、地元選手への声援と健闘をたたえて、観衆も大いに沸きました。開会時間の遅れも、役員と選手が一体となって取り組ん



優勝旗は4年連続本郷地区に……

明治百年の記念もあわせた第十一回町民体育大会は、菊かおる文化の日の十一月三日、本郷高校の校庭で行なわれました。雨あがりの悪いコンディションにもかかわらず、競技は始終熱戦が展開され、記録的にも好記録が続出。結果は、総合で本郷地区が、ことしも優勝を飾りました。二千人近い町民の参加を得たこの大会は、ことしもその趣旨を十分達成できた意義ある行事でした。



地区対抗の得点
競技は、一般の八百員リレーを最後に全種目を無事終了。結局、総合成績では、ことしも

本郷地区の王座はゆるがず、全種目に強みをみせ四年連続優勝というみごとな記録をうち立てました。一方、競技記録においても、四種目に新記録が生れるなど好記録が続出し、内容も充実して見て見ごたえある大会でした。

なお、前回大会から登場した二百歳リレーと職域対抗リレー



上・きれいにスタート
中・ゴール前の接戦
下・はれの優勝メダルを……

第11回町民体育大会成績表

部別	順位	1	2	3	4	5	6
		小学校	男 下川	本郷	御殿	振草	三輪
陸上	女	本郷	振草	三輪	御殿	下川	園
	中学校	男 振草	三輪	御殿	下川	本郷	園
青年	女	振草	三輪	御殿	下川	本郷	園
	男	下川	本郷	御殿	三輪	園	振草
一般	女	下川	本郷	御殿	三輪	園	振草
	男	御殿	園	本郷	下川	振草	三輪
総合	得点	本郷 90	振草 81	下川 79	三輪 76	御殿 62	園 52

が、明治百年記念にふさわしいなごやかな光景もおりまぜて行なわれ、大会の最後を飾ってくれました。

こうして、雨で開会時間の延長というアクシデントはあったものの、午後四時前に本大会の全日程を無事終了、意欲あつた第十一回町民体育大会の幕を閉じました。

ことしもまた、この大会に寄せられたみなさんの温かい協力に心から感謝いたします。

なお、本大会の総合成績は別表のとおりです。

東栄中が大記録で優勝

郡中学陸上競技大会で

去る十月八日、第十九回目の北設楽郡中学校陸上競技大会が田口中学校のグラウンドで行なわれました。この大会には、郡内中学校からあわせて十校が参加、町内からは、東栄中、三輪中、振草中の三校ともそろって出場しました。

このうち、伝統的な強さを誇る東栄中は、総合得点九十五・

五点をあげ、二位を実に三十二点も引き離すという大会史上初の大記録を樹立して、みごとに通算四回目の総合優勝を成し遂げました。しかも、男女とも総合でトップというまさに完全優勝で、これはの中日賞を獲得。また、この大会の種目別競技で六つの新記録が生れましたが、このうち四種目(男子走り高飛び

「町の自然を学ぶ会」

入会希望者募る

春夏秋冬、わたくしたちは自然とともにありながら、案外無関心で暮らしているものです。わたくしたちの郷土東栄町にも、都市部とは比較にならないほど自然の資源やそこから学び取るものは、数えきれないほどあります。この恵まれた自然をただ眺らせておくことはまことにおしいことです。

そこで、こうした願いも含めて、このほど「東栄町の自然を学ぶ会」が結成されるはこびと

なりました。発起人には、本郷高校の平賀校長、原田敏介先生のお二人と、それに三高宏氏が後援者となっています。

この会では、最も初歩的な、むしろ趣味的な勉強から始めることにより、郷土の自然を学びとるとともに、「青年の家」や近く建設されるはこびの「郷土館」を中心として、町の子どもたちに対する教育向上に資したいというのが、ねらいとされています。現在、この試みに賛同される人々を、広く町内一般にも呼びかけ、会員を募っています。入会ご希望の方は、はこびまで電話にて本郷高校の平賀校長までお申し込みください。

交通安全への願い

道路交通法の改正要点

◇大型自動車運転資格要件の引き上げ

大型免許は、二十歳以上の者でなければ受けれないことになりました。また、大型免許試験の受験資格に、普通免許、大型特殊免許、または軽免許を現に受けていて、しかも、これらの免許で運転できる自動車の運転経験期間が二年以上ある者でなければ受けることができません。(法第八

十八条)

さらに、政令で定める大型自動車については、大型免許を持つていて、かつ、二十歳以上であり、かつ、運転経験が通算して三年以上の者でなければ運転することはできません(法第八十五条)

政令で定める大型自動車とは、次に掲げる大型自動車をいいます。

- 最大積載量が六・五トン以上のもの
- 乗車定員が三十人以上のもの
- じやり(砕石、土、生コンクリート)などの運搬を業とするトラック
- 火薬運搬用自動車
- 軽免許の廃止

軽免許は、昭和四十三年九月一日以降はなくなり、普通免許に統合されることになりました。しかしこの場合、従来の軽免許をもっている者の運転できる自動車は、総排気量三百六十C以下の自動車に限られます。

◇積載制限違反の罰則強化 (設案警察署)

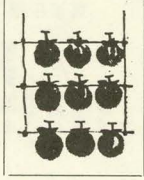
このほか、右折、左折など合図の励行を図るため、合図違反の過失犯も処罰されることになり(法第五十三条、第二百二十条)、また、目が見えない歩行者の優先規定の違反、それに酒気帯び加重の規定などが適用されることになりました。(法第七十一条、同百二十二条)

広報通信欄

農作業と対策

こんにやく栽培(2)

こんにやくの貯蔵
予備乾燥をおわったものは更に選別をし、不良玉をのぞき年別に大きさをそろえて十一月下旬貯蔵庫に入れます。
電熱貯蔵庫は悪い環境条件でも室温を一定に保つことができ火災の心配も少なく、生活改善面でも更に努力の点においてもよく、三十八年より導入されて次第に普及されつづけています。
管内でも四十基近くとなりことは共同電熱貯蔵庫が二基建設されます。
電熱貯蔵庫で注意する点
一、予備乾燥をじゅうぶん行なうこと。
一、換気に特に注意
一、換気貯蔵庫に比べ空気の動きが



少ないので過湿による不良玉が多くなります。
電熱貯蔵のひけつは換気だといわれています。
換気の時期は入庫時の十二月入庫当時は、日中は窓をあけて夜間八度以下にさがったら窓を密閉することです。
一、湿度 七〇〜八〇%以上にはしないこと(早見表による)
一、温度 六〜八度C
一、乾湿計、最高最低温度計は農機具と心得て必ず使用するこ。乾湿計の水の補給を忘れぬこと。
一、種いもは必ず手にとって調べること。
一、種いもは必ず手にとって調べること。
火熱貯蔵は毎日中にはいるの

「みんなの人権 正しい自由」

人権週間にちなんで

十二月四日から十日まで「人権週間」が行なわれました。この週間は、国民のみんながお互いに入権を大切に、これを守ってゆくためのいろいろの準備しや運動などが行なわれました。ところで、私たちの基本的人権とは、いうまでもなく私たちが、日ごろ人間として生きてゆくために、一番大切な自由や権利などで、この人権が損なわれ

続けたせいで定数をやめてはならない。特に幼木は、毎年続けなければならず、また梅つくりはできず、いずれも副業的のもので、一本一本をたいせつに集約化することです。十二月月上旬に研究会を行ないますので、少ない方もぜひ出席してよくなる梅をつくってくださ。 (東栄地区普及員駐在室)

郷土の文化財



「花祭り」といえば、いまや町を代表する観光行事となり、全国的にも「花祭りの里」として知られてはいます。
この祭りは毎年十二月から正月のはじめにかけて、町内十か所で行なわれます。しかし、この二、三日の花祭りが、十一月二十二・三日の両日に行なわれることになりました。このごろでは舞い手不足の悩みも聞かれますが、古くから伝わる貴重な

花祭り

(無形文化財)

郷土の文化財をまもろうと、氏子の人たちもいっしょうけんめい取り組んでいます。けいこがはじまると、あのリズムカルな笛や太鼓の音が山合いに流れ、年の瀬をしみじみと感じさせます。
では、この花祭りはいつごろどのようにしてはじまったのだろうか。
鎌倉時代のおわりごろに、仏教を信仰する山ぶし姿の人たちが、天竜川をさかのぼり、山奥のこの地方をきて修業をしたと考えられ、花祭りは、この修業者が伝えたものではないかといわれています。



花祭りの神鬼

花祭りは、天竜川の上流である東栄町、豊根村、津具村にかみられません。修験者たちが持ち込んだ宗教や花祭りがこの地方の住民によるこぼれ、そして広まったというのがほんとうのようです。
農村の人たちにとって、いちばんたいせつなことは、作物がよくなることであり、また、むかしの人々は、病気や災害はみな悪い神のしわざだと思っていました。ですから、この祭りを追いかけては豊作を追い、いかに豊作になり、いかに豊作をせよと信じてきたのです。

や権利を行なう場合には、世の中の道理に従って、正しい自由や権利を行使せねばならず、また他人の立場をよく考えた上で責任をもつた行ないでなければならぬ人権とはいえませんが、そこで、私たちは、日ごろ国民生活の基本となり、また、平和な社会の基礎となる基本的人権を、お互いにみんなで大切にすると同時に、みんなが尊重して、平和で明るい世の中をたててゆくよう努力いたしまし

農協だより 東栄牛みごと県下一に

十一月二日より三日間、豊田市で開催の農業祭参加第六回愛知県肉牛共進会において、当町大字品、村松正氏出品の肉牛が優等賞の栄誉をかつと、農林大臣賞・県知事賞をはじめ数々の受賞に輝きました。
この日出品されたのは、県下各地より選ばれた愛知牛(肉牛)二十八頭、肉豚五頭、日ごろの丹精がこめられる逸品ぞうであり、この中からの優等賞は、東栄牛の水準の高さを示すばかりか、その声価を高めたものとして関係者一同非常に喜んでおり、主要データーは次のとおりです。
生後日令 五七三日
生体重 四九〇〇
枝肉重 二九四〇(六〇%)
なお、この肉はキロ当たり一千三百六十という高値で取り引き

警告 だより 狩猟事故 なくしたい

(名古屋法務局) なお、当時の人権擁護委員は関本 英子 大字下田
鈴田 久次 大字三輪
原田 昇 大字中設楽
三高 宏 大字本郷
白川 一市 大字振草
した。
こうした事故をなくすために次のことを守りましょう。
◇酒を飲んだあとや、人の前で銃を手にしたときは、必ず薬室や弾倉の中に弾がはいっていないか確かめる。
◇子どもを動かさず、どこに銃を握らないときは、弾をぬいて銃と弾を別々にかきかかるところに保管する。
このほか、常に安全を第一に心がけて絶対に事故のないようにしたいものです。

蚕繭 二割強の増産

十月二十日出荷の晩々秋繭を最後に、今年の蚕繭出荷は全部おわりました。
好繭個に支えられ養蚕農家の意欲もじゅうぶんであった本年度は、全蚕期を通じて成績は良好であり、通算生産量は四万三千九百九十二(上繭)におよび、昨年度との生産量対比は二一・五割増の成績となりました。
とにかく恵まれない山村農業にあって養蚕の占める割合は大きく、一層の発展を期して各農家は来期の準備に励んでおり、さらに飛躍が期待されます。

戸籍の窓口

(十月受付分)
よこぐさ (出生) 伊藤 鉄也(一夫) 西園目 かなしみ(死亡)
(氏名年令) (世帯主) (住所)
伊藤 莊平 81 康夫 本郷
伊藤 幸三 88 正夫 本郷
原田 さく 88 幸男 振草
金田 光一 9 由夫 月
山本 清三 63 峯広 三輪
久保田末太郎 76 重吉 三輪
黒釜 のぶ 73 勝 三輪